

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふれあいの杜Kids (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数制で個別支援ができています	定員10人ではあるが5人までで受け入れている。ほぼマンツーマンで支援できている	現状の支援に満足することなく利用児の状態に沿った新しい支援を都度、考えていく
2	季節ごとの製作や年に一度のお出かけレクなど実施している	季節ごとの行事を知り、お出かけする際、家族だけでは体験できないことに着目して計画している	色々なイベントを計画していく
3	児童発達支援と放課後等デイサービスを運営しているので就学時期を挟んでも一人の利用児に関して長期間の間、関わる事ができる	就学前から関われることで就学時に必要な準備も利用児のペースに合わせてすすめることができる。就学後も保護者や小学校と細かく引き継ぎができる。職員の数にもよるが必要であれば保育所等訪問支援の活用も促している	保護者と就学先等へ情報提供を行い常に連携して支援をすすめる

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもや(こども食堂など)地域が活動する施設と一緒に活動する機会が少ない	時間的な都合と活動内容をすり合わせるのが難しい	少しでも交流できる時間と場所を探し、地域参加の機会を探す
2	専門職職員(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)がいない。	採用の条件がマッチしない	採用条件の見直し、またハローワークをはじめ多方面への求人継続。保育士・児童指導員などの支援を中心に療育を計画していく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふれあいの杜Kids (児童発達支援)

公表日 2025年 3月 1日

利用児童数 14

回収数 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8				・子どもの人数や活動内容によっては少しスペースが狭いかもかもしれません		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7				1	・あまり気にしたことがない	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	3	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8						
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	4	・あまり知らない		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			8			・まだ経験していない	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					・連絡ノートに加え、毎回口頭でもその日の様子を教えて下さり、ありがたく思っています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					・親の目線に共感しつつも子どもの目線を一番に考えて下さることに安心と感謝の気持ちを持っています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4		2	2			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		8				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8				・インスタをフォローしていますがいつも小学生のデイの子どもの投稿なので未就学児童の方もあげてほしい	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3		3	2	・防犯マニュアルがあったか思い出せない	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		3	・知らない	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		8				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				・長期休みの際に個別療育の時間を取り入れていただけると嬉しい	



公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふれあいの杜Kids (児童発達支援)				公表日	R7年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	○	・折り畳みのパーテーション仕切りなどを活用して対応している	・静と動の療育を同じ部屋で支援している為、限られたスペースとなっている。環境整備する他、別の部屋や場所での活用が必要	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	○	・規定の職員配置をしています。職員同士の声掛けで安心、安全の見守りをしています	・トイレや療育ツール等保管の場所が支援の部屋から離れているため、補助的に動ける職員数を増やす	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・バリアフリー化はできている・2階に上がる為、手摺を必ず使って上り下りするよう支援している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・部屋に行く途中のホールや部屋の中のクロスは水族館や動物園などを貼り、子どもが安心して通える空間を作っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		・実施していない。第三者による外部評価をこの先、取り入れることは課題	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	○	・職員で話し合い決めている。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節に合わせた活動などを提案。また子どもの状態に合わせた活動内容を考えながら対応している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの状況や課題に応じて、個別、集団を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・療育前に確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・連絡帳の記録や支援内容を個別で記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年2回のモニタリングや保護者との面談を実施している。保護者からのニーズを伺うようにしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者と計画相談事業者、子ども支援課の方などを交えて会議をする時間を作り共通理解のもと連携した支援を心掛けている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・交流できる時間を作りたいが各施設との調整が難しい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に書面と共に説明している		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・支援内容を説明の上、同意の署名を頂いている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者からの悩みや相談には随時、適切に応じている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○	・年に1度は保護者会を設け、保護者同士の交流を図っている	・開催の曜日が偏り気味なので違う曜日設定も考慮する。開催時間についてもできるだけ適切な時間を整える
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	○	・絵カードなど視覚化ツールを活用している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・招待できるような企画を立案していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	○	・策定している。事務所にマニュアルを置き誰も見ることができるようになっている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・指定月に各項目の勉強会と訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に必ず確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者より指示のある子どもに関しては職員に周知し、おやつ提供時など机を別に準備するなど配慮している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・記録が発生した場合は、回覧し職員に共有と再発防止にむけた対策を必ずしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修会を開催している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・やむを得ず行う場合は職員と話し合い、事前に保護者の説明と了解を得ている	